

キャリアコンサルティング技能検定1級 学科・論述・面接試験 体験記

平成 29 年 3 月 27 日

1 級受検番号 NO. 03F1620074 氏名： K.K (東京都在住)

■ 1 級技能士を目指した理由
<p>・ 1 級で求められる指導者視点で面談を振り返ることが、自分自身の面談力向上につながるものが 1 つ目の理由で、後輩の実技指導を行う際にも何となくではなく、納得感のあるアドバイスができるのではないかと考えたのが 2 つ目の理由です。</p>
■ 当初の勉強法
<p>・ まずは、夏ごろから学科試験対策を先にと考え、過去 3 回の過去問にじっくり取り組みました。そこに出てくる理論家や制度名、項目、法律、最新の話題などを拾い上げて地道に調べ理解することに努めました。</p> <p>秋になって論述試験に取り組みようと過去問を見て、これは独力では難しいと判断して、急ぎ 1 級技能士の会の「論述三昧」の講座に参加しました。</p>
■ 合格のきっかけ
<p>・ 「論述三昧」の講座に参加したことが、大きな転換点になったと思います。講座に出席した結果、何となくではない、考え方のステップや筋が見えた気がしました。</p>
■ 学科試験の勉強
<p>・ 当初の勉強法で書いた通り、地道な方法です。それと、最後に力試しとまとめのつもりで 1 級技能士の会の「在宅模試」に取り組みました。</p> <p>この模試は、最新の話題も網羅されており、確認になりました。</p>
■ 論述試験対策
<p>・ 「論述三昧」が全てです。3 日のうち 2 日しか出席できませんでしたが、必須問題と選択問題どちらもカバーでき、少し自信をもって試験に臨めました。試験日前までに、過去 3 回の論述過去問には試験司様の時間内で取り組み、実際に書いて確認しました。</p>
■ 面接試験対策
<p>・ 1 級技能士の会の「直前対策講座」を受講しました。この 2 日間の講座以外では、ロープレ練習をする機会は全く作れませんでした。そのため、一人で出来る方法として、3 ケースについて論述共通問題の設問に答えるつもりで、まずは書き出してみました。その上で、対策講座で学んだ面接のステップを確認しながら録音した自分のロープレを振り返り、今だったらどう言うか、何を問いかけていかを一人ロープレしました。</p>
■ 受検される方へメッセージ
<p>・ 講師の言葉である「事例相談者は不安な気持ちで自分の前に来ているんです。その相談者の良い所を引き出し、プラスアルファを加えて、次の相談に向かえる様に送り出してあげる気持ちが大切です」ということがたいへん心に響きました。</p> <p>合格に向けた勉強の段階から、試験とはいふ常にごその心構えで事例相談者に向き合いたいと強く思いました。皆さんもぜひ頑張ってください。</p>